

# H19 東京遠征のまとめ



期 日 平成19年11月10日(土)～11日(日)  
メンバー 男子・・・山口大輝、権藤丞、井口裕大(3人とも海星高校)  
女子・・・柴山玲子、田中茉弥(2人とも長崎東高校)  
引率・・・安居院公隆(長崎県テニス協会・小浜高校)

## 日 程

10日(土)



9時～長崎空港～羽田空港～早稲大学練習見学  
～早稲田大学にて練習～  
～武蔵野ローンテニスクラブにて練習試合(雨天で中止)  
都内ホテル泊

11日(日)

9時～全日本選手権 観戦  
～羽田空港～長崎空港へ

## 感 想

- ・ プロの選手は、1球1球を大切にしている印象を受けました。
- ・ どのボールも同じフォームで打ち続けていました。
- ・ サーブとレシーブを武器にできるように今後意識していきたい。  
(選手感想1)
- ・ 今後も色々なことを吸収してもっと強くなることが、県テニス協会や指導してくれる方や両親に対しての1番の恩返しになると思います。
- ・ プロの選手の練習は、人の目を引くような、人を感動させるような雰囲気で行っていると感じました。
- ・ サインをもらう緊張感、それに対して笑顔で対応してくれたプロの選手の対応に感動しました。  
(選手感想2)
- ・ プロの選手のようなプレーは、まだ無理ですが、1つできることは、最後まで、あきらめずにボールを追うことだと実感しました。
- ・ 全日本選手権のダブルスの試合「本村・寺地 VS 奥・長尾」の試合がとても印象に残りネットを取ることの大切さを強く感じました。  
(選手感想3)
- ・ どんなボールやコードボールで、取れそうにないボールも、そこに走って取りに行く姿が、私たちと違いました。  
(選手感想4)
- ・ プロの選手は全身の筋肉を使って打っていると感じました。
- ・ ダブルスは、ボールの速さだけでなく、コースでポイントをとるものだと気づきました。
- ・ 長崎県の代表選手になるという自覚を持ち、感謝の気持ちを忘れずに、今後も練習に取り組み、成長していきたいです。  
(選手感想5)
- ・ 引率者の感想



百聞は一見にしかず